



与論島の島是「誠」

# 誠風

個性が輝き 島が輝く 誠の教育

与論町教育委員会だより

第302号

令和4年5月26日発行

891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花1418番地1

電話：0997-97-2441/Fax：0997-97-4196

Email：gakumu@yoron.jp

## 令和3年度与論島クリーン大作戦『春』

与論町子ども会育成連絡協議会主催で、海岸やマラソンコースの清掃活動が行われました。

島の子どものための地域環境への関心や郷土愛を育み、ボランティア精神を養うとともに、異年齢の交流と魅力ある地域コミュニティづくりに貢献することを目的に、去る2月27日（日）、与論島クリーン大作戦「春」が実施されました。天候が心配されましたが、全15子ども会から482名が参加して、島内の海岸やマラソンコースをきれいに清掃することができました。

参加者は、「中学生が先頭を歩き、小学生のお手本となってゴミ拾いをした。」「参加者が多く、久しぶりに集落活動ができてよかった。」「朝の早起き、異年齢交流ができ、ボランティアを通して、町も心もきれいになった。」などと話していました。



## 令和3年度子ども会花壇コンクール

与論町教育委員会及び与論町子ども会育成連絡協議会主催の子ども会花壇コンクールが行われました。島の子どもたちが、花を育て、愛し、親しむことで、豊かな心とボランティア精神を養うとともに、町民憲章の『わたくしたちは自然を愛し、花と緑の美しいまちをつくりまします。』の具現化に努めることを目的として、去る2月19日（土）～2月27日（日）までを審査期間とし、分散審査にて実施しました。13子ども会が参加し、よく手入れされ、アイデアや工夫の溢れる花壇を披露することができました。参加した子ども会は、「水かけ当番を交代制にし、みんなで相談しながら花植えすることができました。」「地域の方々との交流の場となっているため、皆さんの気分が少しでも明るくなるようにと、花を絶やさないように努力しました。」「与論の美しい砂浜と青い海をイメージした花壇づくりと、子どもたちの明るい笑顔があふれる子ども会活動をしてきました。」と紹介していました。花と緑の美しいまちづくりに協力して頑張ってくださいました子ども会の皆さん、ありがとうございました。



## 教育委員会報告

定例会 1月5日（水）開催

- ・ 与論町立学校給食センター建設用地の報告について
- ・ 『誠風 第300号』の発行について
- ・ 令和4年度の小学校入学式及び町教育委員会学校訪問について
- ・ 総合教育会議について

定例会 2月3日（木）開催

- ・ 令和3年度 教育委員会活動の点検・評価報告書について
- ・ 与論町立学校給食センター建設検討委員会の設置について
- ・ 与論町立学校給食センター食物アレルギー等対応委員会設置要綱について
- ・ 『誠風 第301号』の発行について
- ・ 与論町部活動適正化検討委員会設置要綱について

定例会 3月2日（水）開催

- ・ 与論町多目的運動広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
- ・ 与論町多目的運動広場クラブハウスの設置及び管理に関する条例施行規則について
- ・ 与論町十五夜踊保存会補助金交付要綱の改定について
- ・ 令和4年度 与論町育英奨学資金貸費生の決定について
- ・ 与論町部活動適正化検討委員会設置要綱について
- ・ 『誠風 第302号』の発行について
- ・ 小学校の校舎建設の方針について
- ・ 令和4年度の教育行政要覧の一部修正について

# 第2回「ヨロン海洋教育フェア」開催！！

与論町の全ての学校は「海洋教育」を推進しており、そこでは、「与論の海」「海に守られた伝統・文化」「島で生きる大人たち」などをテーマにした探究学習が行われています。そして、この海洋教育によって、与論の子供たちに、愛郷心や表現力、自己有用感を身に付けることをねらっています。

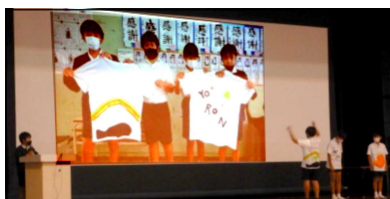
令和4年1月28日（金）、各小・中・高校の代表児童生徒が砂美地来館に集まり、招かれた地域の方々の前で、それぞれの学びの成果を発表しました。



## 与論小学校5年生

### 「方言劇」「サンゴについて」

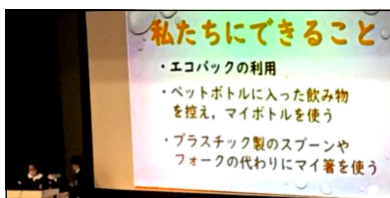
学校生活を舞台にした方言劇と、サンゴ保全に関するプレゼンテーションの2本立ての発表でした。特に、全編ユンヌフトゥバによるお芝居は、来場した大人たちにとっても好評だったようです。



## 茶花小学校6年生

### 「与論のよさを伝えたり守ったりするために自分たちにできることを考えよう」

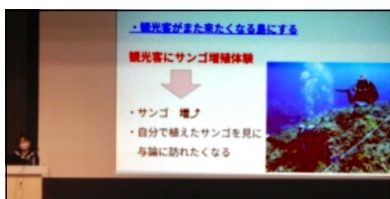
与論のために自分たちにできることを小グループごとに考え、計画し、実行してきた6年生。島の持続可能化につながる刺激的なアイデアを次々に披露してくれました。驚きの連続でした。



## 那間小学校5年生

### 「サンゴ礁と私たち」

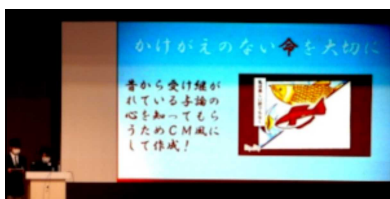
与論のサンゴは島の観光資源であるだけでなく、我々島民の生活を守り、支えてくれていることに気付かせてくれる発表でした。会場が一体となり、サンゴ保全について考える時間となりました。



## 与論中学校2年生代表

### 「与論の観光について」 里見虹夏 / 「十五夜踊りにについて」 沖 寧音

「島を訪れた観光客にサンゴ増殖体験をしてもらうことで、来島リピーター率のアップとサンゴ保全を同時に達成する」「与論十五夜踊りの一番組の踊りを現代語訳したものを文化祭などで発表することで若者の興味を高め、踊りの伝承につなげる」——どちらも、島の未来にコミットしようとする大変興味深い発表でした。



## 与論高等学校1・2年生代表

### 「昔話に学ぶ与論の心」 東 祐樹, 高杉零志, 原田涼帆, 涉遥香

### 「観光～与論経済の下支え～」

川畑光麗, 新澤雄元, 供利心虎斗, 南心陽, 若松孫澄

### 「ペットボトル削減からマイボトルへ」 志田佳乃, 竹森友南

与論の昔話から見つけた「島民が古くから大切にしている考え方」を、CM風の啓発動画にして披露しました。また、与論のお土産や特産品を細かく分析しながら、島の経済活性化のためにお土産を工夫・充実する必要性を訴えたり、島の自動販売機からペットボトルを減らすことや、町内にマイボトルを普及させることの大切さをデータを示しながら伝えたりするなど、探究的に学ぶことを大切にしている与論高校ならではの素晴らしいプレゼンテーションでした。

## 【来場者の声】

- 小学生でも自分たちでできることを提案しており、当事者意識を育み、郷土の発展に寄与しようとする態度の育成につながると感じた。小・中・高が一堂に会することで、子供たちの刺激にもなったと思う。
- 問いを見だし、自分で考え、自分なりの意見を導いており、聞きごたえがあった。大人たちも気付きのある発表が多く、ここまで行動していることが、児童生徒にとってよい経験になると思った。
- ぜひ多くの大人に聞いてもらいたいと思う内容だった。これからも学びを続けてほしい。



昨年度に引き続き、来場者を制限しながらの開催となりました。来年度こそ、多くの町民の方々をお招きし、子供たちの熱い思いに直接ふれていただくことができると思っています。